

区分	提言内容
産業 振 興	島の高齢化が進む中、農業後継者不足のため今後ますます休耕地が増える可能性がある。農業漁業体験・農業就労支援を実施し、地域力を高める必要がある。 第一次産業従事者の定住を促進（I・Uターン者等）し人口増を図る。
	若い農業経営者が希望の持てる環境づくりをして欲しい。農業について消費者が理解しやすく親子でも楽しめるような農業公園を船木に作って欲しい。農業の高齢化に対処するため、共同機械方式の整備・充実が大切である。農業公園で収穫した作物を販売できるフリーマーケットを開催できるように支援をお願いしたい。
	新居浜市はものづくりのためにこれまで蓄積してきた基礎技術・設備があり、製造業に従事する人も他業種に比べ多い。そこで、「工都新居浜の復活を目指す」というスローガンのもと、まちづくりをすすめてはどうか。その為には、世界戦略が立てられる人をリーダーとして迎える、全国の大学・研究機関と連携をとり、世界に通用することをシーズ（たね）の段階から探す、成功事例に学ぶ（例えば西条市のクラレ西条等）などしてみてもどうか。
	若者が生活しやすい町、若者が地元で定住できるような企業誘致が必要であり積極的に動いてもらいたい。起業する際の準備オフィスを交通便の良い駅前に提供し起業しやすい条件整備を図って欲しい。
	別子山にショッピングモールを作り、別子山に大勢の方が来てもらえるようにしてほしい。そのためには道路の拡大が必要である。また、「霧の森大福」のようなここでしか買えないような特産品づくりや温泉施設など魅力あるものを作ってほしい。
	次世代に兜山の雄姿を伝承するため、林道及び環境整備をお願いしたい。兜山から西赤石への登山ルートを整備すると旧別子銅山跡を中心とした観光登山ルートが形成できる。子供達の教育登山にも利用できる。創造性あふれるふるさと文化づくりのため、お願いしたい。
	新居浜市の有形文化財を中心とした観光開発ですが、有形文化財として登録された別子銅山関係の文化財とともに旧別子銅山鉄道を復活し、新居浜市全体の観光開発に取り組んでいただきたい。
	別子山地区は高齢化率49%であるため、高齢者にやさしい街づくりをの一つとして、交通網の拡充を希望する。通院や買い物のためにも地域バスを利用しているが、現在の2便では他の用事を済ませることができないため、増便やデマンドタクシーとの併用を考えてほしい
	小学校廃校後、跡地を利用して、宿泊施設を設けることで雇用を創出する。
	大島の活性化のため、年間を通して、利用（来島）してもらえ顧客の掘り起こしが必要。
	<p>少子高齢化対策（地元定着化、U・I・Jターンの受け皿づくり）</p> <p>①別子山村の自然環境を生かしたU・I・Jターンの受け皿づくり</p> <p>団塊の世代や都会からのU・I・Jターン組がロハスな田舎暮らし求めて地方に動き始めている。住環境の供給や農林業の支援体制、環境整備をすすめることにより労働力の確保につながる。また高齢化や限界集落化にも歯止めがかかる。また子育て世代もロハス生活に魅力を感じて移動することで少子化対策にもつながる。市内各所にもまだまだ田畑が混在しており、自給生活と古民家セットでの需要がある。こういう人々は地域コミュニティとの共生も積極的で友好的である。</p>
	<p>昭和通りのにぎわいを取り戻したい。</p> <p>人が集まる方法・低料金で市内の施設を巡ることができるバスを新設する。環境にもやさしい公共交通機関をつくる。</p> <p>自転車道を整備し、安全に行き来できる体制をつくる。</p> <p>魅力ある店づくりを目指す・ここでしか買えない限定商品の開発をしてはどうか。</p>
	大学・専門学校をつくってほしい。若者が定着できるとともに市外から人が集まる。地元企業とタイアップした専門分野の授業を行えば、学生には就職活動が有利になるとともに、地元企業にとっては入社後の教育が短期間で済むという、双方にメリットがある。専門分野の研修制度を設け、地元企業から研修生を出してもらい、最新技術の研究を行えば、世界に通用する技術を保有できるようになる。
高等専門学校の大学化、中小企業大学校の誘致、企業の研究施設の誘致に取り組んでほしい。	